



地デジ化まで 2カ月 を切りました

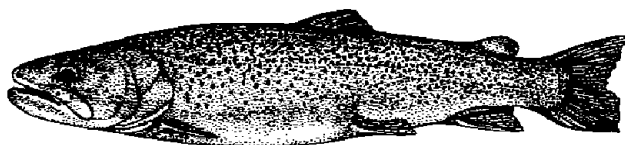
N ぐつちゃん
ニュース
News

あ の がる と

『イトウの保護』

雪解け水で増水した流れの中、ほんの目前に丸太のように静止する姿。鮮やかな朱色をしているので、薄く濁った水の中でもよく目立つ。とても生き物とは思えない色だが、生きている証拠に暫く見ていると少し移動しては元の位置に戻る。水面が細かく波立っているので正確な大きさは目測し難いが、ゆづに1メートルを越していた。

大型の個体が見られることや、頭部が大きく、同サイズの他の河川のイトウに比べて魚格が一回り大きいことなど、尻別川のイトウにはいくつかの大きな特徴が認められる。稚魚の発育が良いことと、繁殖を始める年齢が遅い傾向があるためだと考え



られているが、このような尻別川独自の特徴を壊さぬように特に注意を払いながら、親魚の確保、人口採卵による稚魚の生産と放流、そして河川管理者との協働を通じた魚道の整備など、イトウの保護活動は続けられてきた。その最中、昨春には自然条件下で繁殖が確認された。実に約20年ぶりのことであった。

そして今年、始まるのは連休後だろうとの予想に反し、イトウが繁殖活動を始めたのは連休前のことだった。緊急に連絡を取り合い、交番や周辺の農家への挨拶、看板設置の許可の取得そして見守り態勢を整え、有志の方々が文字通り不眠不休で繁殖を見守った。

イトウの繁殖の報告会

日時：6月26日(日)
午後1時半～3時半
場所：風土館(入館料100円)
講師：オビラメの会会員ほか
演題：みんなで見守った
巨大「尻別イトウ」の自然産卵
主催：尻別川の未来を考える
オビラメの会
問合せ：☎44-2472
(オビラメの会事務局)

道内の他の地域とは異なり、尻別川流域ではそもそも昔からイトウとの深い付き合いがあった。釣り方にくつかの独自の流儀が見られるばかりか、かつては鮮魚店で切り身が売られていたという。この地域の自然を特徴づけるだけでなく、独自の文化的な側面も認められる点でも、尻別川のイトウは実にユニークな存在である。

尻別川流域の住民の知恵と総意で何とか護り続けたいものである。

校名を募集します

平成25年4月に開校する中学校の「校名」を募集します。

募集対象は町内に住民登録をしている小学生以上の方と町内の小中学校を卒業した同窓生です。

募集期間は6月1日から30日までの1ヶ月間で、30日必着とします。詳細については、今月号広報紙に募集内容と応募用紙を記入したチラシを折り込んでいますので、そちらをご覧ください。

問い合わせ

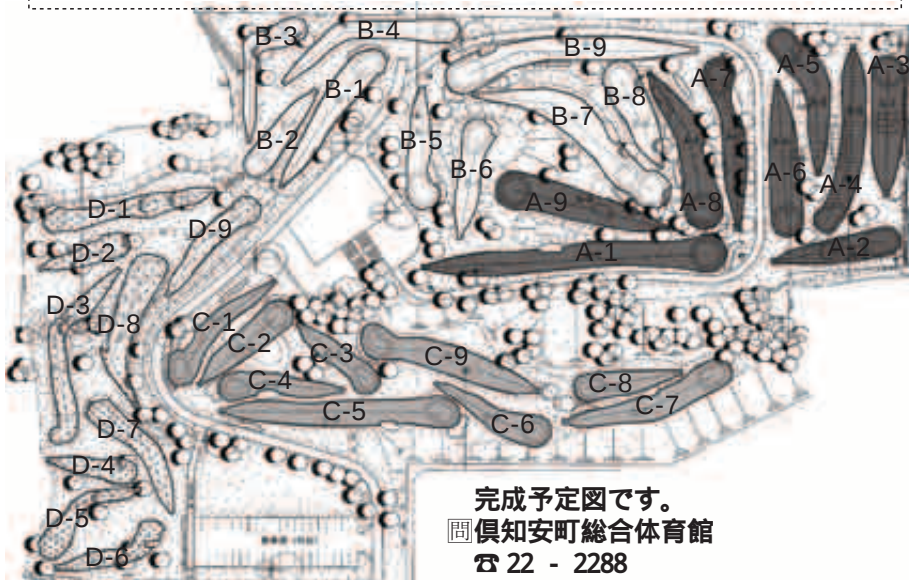
町教育委員会学校教育課

☎56-8018



パークゴルフ場のコースが改修されます！

旭ヶ丘パークゴルフ場は、1コース増設のため整備中で、現在は2コースのみご利用いただいています。新コースは芝生の養生などが必要なため、オープンには8月頃となる見通しです。



完成予定図です。
☎ 倶知安町総合体育館
☎22-2288